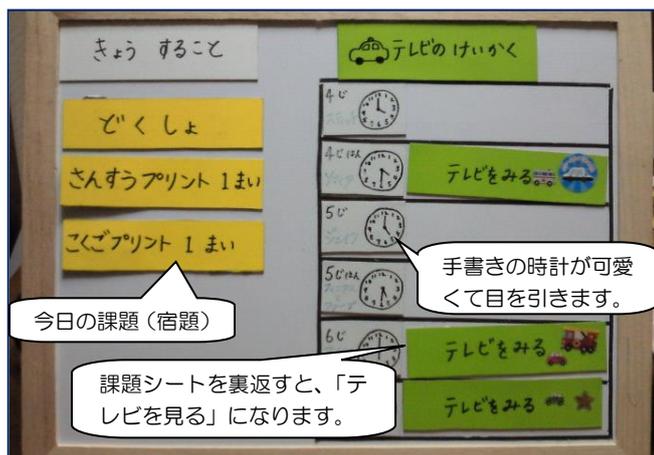


キラリ！築山っ子

本島

冬休みを前に…こんな作戦いかがでしょう？



おかげさまで11年目となりました「子育て学習会」。コロナ禍を境に少し参加人数が減ってきていますが、今年も築山小の保護者の皆さんを中心に、玉名市内の幼稚園保育園や小学校の保護者の皆さんと楽しく学習を進めています。今年はお父さんの参加もあり、嬉しく思っています。

さて、左の写真はこれまでの子育て学習会に参加されたお母さんが、夏休みや冬休みに取り組まれた事例です。「子どもの意欲を高めながら宿題に取り組ませる工夫」です。冬休みにいかがでしょうか？

材料は、①ホワイトボード、②両面色違いのマグネットシート、③子どもが好きなキャラクターのシール…以上です。すべて100円均一のお店で購入可能です。

左側には「読書」「算数プリント1枚」「国語プリント1枚」など、「今日すること（課題）」が書かれたマグネットシートの短冊が貼られています。右側には「テレビの計画」が4時から30分かんかくで表にされています。時計の文字盤が書いてあって、1年生でもわかりやすそうです。この表には「テレビを見る」と楽し気なシールが貼られた短冊が貼られています。使い方は次のようになります。

- ① 左側に貼られた課題から取り組みたいことを選んで頑張る。
- ② 課題を終えたら課題の短冊を裏返して自分が見たいテレビの時間帯に貼る。

これだけです。

予め見たいテレビがあれば、自分で宿題を頑張って、その時間に短冊を貼ればOKですし、「お母さん、このテレビが見たい！」と言ってきたら「課題を頑張ったら見れるよ」と笑顔で返せばOKです。もっと見たければその分課題に取り組めばいいわけですね。

親子で楽しく継続できる作戦がいいですね(◡_◡)/



- この取組のいいところをまとめてみます。
- ① 子どもがやりたい（この場合テレビを見る）ことをご褒美に設定していること。何もご褒美で物を買わなくていいので、経済的で継続しやすい。
- ② テレビは親が買ったものなので、主導権がお母さんにある。（子どもが勝手にできない。）
※子どもの主体性を育てるためには、親が確固とした主導権を握っておくことは大切です。
- ③ 「課題ができたならテレビが見れるよ。」の魔法の言葉かけが使える。「課題しないとテレビは見せません！」だと、子どもとの良好な関係につながりません。

この取組を進めるにあたって、こちらのお母さんは我が子の夏休みや冬休みの課題を全部チェックして、1日にどれくらい取り組めば余裕をもって終わらせられるかを計画されたそうです。

テレビではなく、ゲームが好きな子であれば一つの課題をすることに「ゲーム〇分間」みたいにしてみるのもいいですね。宿題ではなく、「おうちの手伝い」を課題のところに入れても使えそうです。

- 《ごほうび作戦のポイント》※子育て学習会でお伝えしている内容です。
- ご褒美は本人にとって嬉しいものであること。
 - 取組を始めた当初は、必ずご褒美がもらえるようにすること。
 - ご褒美は取り組む課題と見合っていて、継続可能であること。（高価なものだと継続できず、良い行動が定着しにくい。）
 - ご褒美を与える時には必ず誉め言葉等をセットで与えること。